

令和4年度

滋賀県レイカディア大学同窓会

定期総会議案書



日 時：令和4年5月11日（水）

受 付：13時

総 会：13時30分～15時30分

会 場：県立長寿社会福祉センター

レイカディア大学草津校 大教室

令和4年度 長寿者慶祝(白寿・米寿)ご芳名

(白寿大正13年生・米寿昭和10年生)

所属支部	受章者氏名	卒校	卒期	学科	生年月日	住 所
高島	池田 邦治	草津	20	文芸	昭和10年7月16日	高島市高島町鴨2379-16
	山形ひさ江	草津	20	生活	昭和10年12月12日	高島市今津町松陽台1-15-15
湖北	新木 久江	米原	20	スポレク	昭和10年1月23日	長浜市高月町東物部821
	藤川 勉	米原	27	文芸	昭和10年3月12日	米原市梅ヶ原1401
	堀口トクエ	米原	18	生活	昭和10年3月18日	長浜市高月町西柳野479
	松岡 純次	米原	22	園芸	昭和10年4月1日	米原市西門寺689
	北村しず枝	米原	22	園芸	昭和10年6月24日	米原市宇賀野503-2
	三田村みどり	米原	26	スポレク	昭和10年12月5日	米原市宇賀野326
	湖東	東平 信昭	米原	30	スポレク	昭和10年1月7日
北川 ちよ		米原	41	健康づ	昭和10年2月1日	犬上郡豊郷町安食西831
金森 滋		米原	24	スポレク	昭和10年3月6日	彦根市本町2丁目1-25
森野 久光		米原	26	園芸	昭和10年3月19日	愛知郡愛荘町長野西1202-1
森野榮次郎		米原	32	園芸	昭和10年9月17日	愛知郡愛荘町長野1735
阿藤市太郎		米原	26	生活	昭和10年10月10日	愛知郡愛荘町長野1785
野村 悦子		米原	19	スポレク	昭和10年12月19日	彦根市上西川町465
北川 富男		米原	28	生活	昭和10年12月17日	犬上郡豊郷町沢296
中部	斎藤吉太郎	米原	20	生活	昭和10年	蒲生郡日野町1020-65
	深田 和子	米原	31	園芸	昭和10年6月12日	東近江市能登川町606
	富江 時子	米原	23	生活	昭和10年6月24日	東近江市福堂町3233
	大前 味貴	米原	22	スポレク	昭和10年9月21日	東近江市小川町1270
	蘭川 晋	米原	27	園芸	昭和10年10月16日	東近江市佐野町611-3
	田口 勉	米原	27	文芸	昭和10年	東近江市今町224
近江八幡	小根田守一	米原	22	スポレク	昭和10年2月4日	近江八幡市鷹飼町1035
	赤尾 孝	米原	25	園芸	昭和10年2月10日	近江八幡市中小森町407
	石橋 良樹	米原	30	地域文化	昭和10年2月22日	近江八幡市十王町896-4
甲賀・湖南	谷底寿鶴恵	草津	23	スポーツ	昭和10年3月22日	甲賀市水口町虫生野中央8
	橋本 黄市	草津	22	スポーツ	昭和10年6月5日	甲賀市水口町八光3-30
	徳地 悦郎	草津	31	園芸	昭和10年6月8日	甲賀市信楽町勅旨1667-1
	橋本 元夫	草津	23	園芸	昭和10年6月23日	甲賀市甲賀町拝坂833-154
	瀬古 松久	草津	25	園芸	昭和10年7月9日	甲賀市甲賀町上野1616
大津	齋藤 治子	草津	19	陶芸	昭和10年2月3日	大津市瀬田5丁目24-10
	小川 陽一	草津	20	生活	昭和10年8月28日	大津市石場11-16
	原田 勲	草津	26	園芸	昭和10年9月10日	大津市大將軍1丁目15-38

滋賀県レイカディア大学同窓会

令和4年度定期総会次第

1. 開会の言葉
2. 物故者への黙祷
3. レイカディア讃歌斉唱
4. 会長挨拶
5. 長寿者慶祝
6. 来賓祝辞
7. 来賓紹介
8. 議長選出並びに議事録作成者氏名
9. 議事
 - 第1号議案 令和3年度事業報告
 - 第2号議案 令和3年度収支決算報告および監査報告
 - 第3号議案 役員改選（案） 新役員の紹介
 - 第4号議案 令和4年度事業計画（案）
 - 第5号議案 令和4年度収支予算（案）
10. 記念講演
 - 講師 落語家 てんご堂^{がらく}雅落（笑福亭鶴瓶門下）
 - 演題 「笑って元気にほがらかに！」
11. 閉会の言葉

第1号議案

令和3年度事業報告

I. 活動の総括

“同窓会創立40周年記念事業実施年度を意識しよう”をモットーに掲げた。

少子高齢化が進み人口が減少する事によって、これまでの既存の秩序の維持が多くの場面で困難になってきます。

いわゆる組織力の低下が表面化し、地域が営々として守り続けてきた、豊かな伝統文化や民俗行事の承継が、多方面にわたって行き詰まって来ます。

今こそ私たちが長い人生経験の中で培った、知恵や知識を役立てて地域社会の担い手としての、出番が来ているとの自覚を持って、「同窓会のあるべき姿」や「滋賀県レイカディア大学のあり方」にも思いを致し、令和3年度の運営に取り組んできました。

一、令和の時代に必要なのは、「試みて気づけ」と自らを励まし、同窓会員が大切にしている価値観をしっかりと持って、次第にあるべき姿に近づけて行けるよう努めるとした事については、いくつかの実績を得られました。

- ・事務局員の設置
- ・常任理事会・理事会への顧問の出席頻度の向上
- ・役員改選時に、選考委員会を設置

二、同窓会の予算および事業計画は、中（5年）・長（10年）期的な視座に立ってなすとした事については、SDGs(持続可能な開発目標)の精神を随所に盛り込みました。

- ・機関誌「會報（つながり）」の自主編集とコストダウン
- ・創立50周年記念事業目的積立金を創設
- ・HP 運営講習会の実施とWEB会議の導入

三、母校と同窓会の充実と発展は、大学・サポートの会・同窓会・えにしの会が互いに「共創意識」を持って、シェアリングするとした事については、概ね共感を得られました。

- ・大学は、建学の精神の遂行
- ・サポートの会は、学校運営・学生活動の支援
- ・同窓会は、会員活動（親睦・健康の増進・社会貢献）を通じて母校の発展に寄与
- ・えにしの会は、卒業生を中核に全県的な社会貢献活動
- ・県社協・各組織企画事業への積極的協力と相互参加

四、男女共同参画の提唱と定着によって、性別に偏りのない多様な人材に活躍してもらえらる”風土づくり”をめざした事については、道半ばと言えます。

- ・数年来の活動方針の中核に掲げ続けている。
- ・支部選出の本部理事の性別の均衡が期待値に届いていない。
- ・本部役員（三役・常任理事・部会長・監事）に於いても上記に同じ。

五、「同窓会創立40周年記念事業実施年度」と位置づけて、同窓会役員が大切にしたいキーワードを①会員は「親密」に ②活動は「緻密」に ③連携は「綿密」にの「三密」であるとして、新たな情熱を形にするとした事については、企画委員会・実行委員会の立ち上げと計画事業の完遂で果すことが出来ました。

- ・コロナ禍ではありましたが、諸会議を高頻度で行った。
- ・企画委員会で大綱を纏めた。
- ・実行委員会で事業を具体的に立案した。
- ・常任委員会の承認を得て、実行し所期の成果を得た。

以上総括と致します。

Ⅱ. 各部会の活動報告

総務研修部会

1. 令和3年度定期総会の開催（担当支部 湖北支部）

日時 令和3年5月26日（水）13:30～15:00

会場 県立長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校大教室

出席者数 27名 リモート参加18名 その他4名 合計49名

コロナ禍のため役員のみでの開催となったが、初めての試みとしてHP管理班によるリモート参加が実施された。

2. 第43期生学生募集活動

6月1日～8月10日の間、本年も積極的な活動は出来なかったが各地区の作品展等で配布活動を行った。

草津校149名（定員145名）米原校61名（定員70名）合計210名

3. 無料必修講座の聴講

11月米原校、1月草津校の予定であったがコロナ禍のため中止。

地域活動部会

1. 地域活動の継続と拡大

① 草津、米原両校の「レイカディアの日」「コスモアースコンシャスクリーンキャンペーン」はコロナ禍のため縮小実施・延期となる。

② 「美しい湖国をつくる会」活動に参加

環境美化活動に大津支部が、小学校・幼稚園・児童クラブの校庭環境美化活動として参加した。

③ 湖岸清掃活動に草津・栗東、近江八幡、湖北の各支部が参加

2. 第13回地域活動事例発表会の開催

11月15日ひまわり館で開催。8支部8名が発表。参加者120名

3. 43期生地域活動体験学習ガイダンスへの参画

3月24日米原校60名 3月25日草津校142名

広報情報部会・HP管理班

1. 学習成果展示会に同窓会紹介パネルを展示

11月17日米原校 3月4日草津校

2. 会報つながり冬号の発行

40周年記念特集号として38号を発行 発行日2月1日

3. 40周年記念品としてのクリヤーファイルを企画、作成

<HP管理班>

1. 会報創刊号から30号までをPDFファイル化

2. 40周年記念DVDの作製

3. 本部HPのYouTubeのIDを個人管理から同窓会のIDに移行

4. HPの随時更新 60回

40周年記念事業実行委員会

1. 支部対抗記念グランドゴルフ大会

12月1日 長浜バイオ大学ドーム 参加者133名

2. 記念式典

12月17日 県男女共同参画センター 参加者138名

Ⅲ具体的な活動内容

事務局

月	日	事業の概要
4	8	令和2年度会計監査 会長 監事 会計 事務局
	12	第1回理事会 令和3年度定期総会議案審議
5	20	えにしの会定期社員総会 会長 長寿社会福祉センター
	26	令和3年度定期総会 役員およびオンライン 長寿社会福祉センター
	31	第2回理事会 総会議決に基づき3年度事業の協議
6	21	第1回常任理事会 40周年記念事業について
7	30	第2回常任理事会 40周年記念事業具体案検討
10	2	第3回常任理事会 會報つながり冬号、地域事例発表会
	5	第43期生入学式 会長 長寿社会福祉センター
11	18	学習成果発表会 会長他 県文化産業交流会館
	22	学長懇話会 三役、サポートの会 長寿社会福祉センター
12	6	えにしの会との懇話会 湖北、湖東、中部各支部長 米原市役所
	8	第4回常任理事会 次年度役員選考について
	17	次年度役員選考会
	24	同窓会説明会 会長 長寿社会福祉センター
1	14	県後期高齢者医療広域連合懇話会 会長 滋賀県厚生会館
	31	42期生同窓会入会申込締切
2	1	第5回常任理事会 42期生入会状況
3	4	第6回常任理事会 理事会に向けての総会議案書の確認
	17	42期生卒業式 会長 県文化産業交流会館
	24	サポートの会全体説明会 会長他 長寿社会福祉センター
	30	第3回理事会 令和4年度定期総会提出議案の審議

40周年記念事業実行委員会

月	日	事業の概要
3	31	記念事業特別委員会設置承認 委員7名
4	26	第1回委員会 諸案を提示
6	8	第2回委員会 記念事業の大綱を決定
7	14	第3回委員会 実行委員会に改組 委員5名追加 12名で構成
8	5	GG大会9月22日、記念式典10月8日を決定
	23	県緊急事態宣言により実施延期を決定
10	8	第4回委員会 GG大会12月1日、式典12月17日開催を決定
11	29	第5回委員会 2事業の参加者数の確認、式典役割分担の確認
12	1	支部対抗GG大会実施 競技者、スタッフ合計133名 長浜バイオ大学ドーム
	17	40周年記念式典挙行 138名 県立男女共同参画センター

総務研修部会

月	日	事業の概要
5	10	第1回部会 令和3年度定期総会運営最終打ち合わせ
7	10	第2回部会 43期生学生募集 無料必修講座の聴講事業について
2	4	第3回部会 令和4年度定期総会および44期生学生募集活動について

地域活動部会

月	日	事業の概要
6	21	第1回常任理事会において「第13回地域活動事例発表会」開催を決定
	25	第2回部会 事例発表会の詳細を決定
10	4	第3回部会 事例発表会の準備作業、役割分担等の確認
11	11	第4回部会 事例発表会の最終確認
	15	第13回地域活動事例発表会開催 コロナ対策を講じて開催 120名
3	24	43期生地域活動体験学習ガイダンス 60名 米原校
	25	43期生地域活動体験学習ガイダンス 142名 草津校

広報情報部会・HP管理班

月	日	事業の概要
6	25	第1回部会 令和3年度事業計画の決定 40周年記念事業に伴い夏号発行中止
8	12	HP管理班 会報創刊号から30号までの読み取りPDFファイル化 8月12日～19日
9	7	HP管理班 40周年記念DVD作成（会報創刊号から37号をベースに動画編集）
11	10	第2回広報情報部会 会報38号発行に向け調整会議 慶祝者の写真準備
	17	米原校学習成果展示会に同窓会パネル展示 米原校
	18	米原校学習成果展示会同窓会パネルの撤去 米原校
12	17	HP管理班 40周年記念式典にてDVD放映 男女共同参画センター
	23	第3回広報情報部会 会報つながり38号の内容確認と同窓会パネルの準備他
2	1	会報つながり38号と40周年記念クリヤーファイルを支部長宛配布
	15	同窓会紹介パネル各支部報告印刷
3	4	草津校学習成果展示会にパネル展示 草津校
	5	草津校学習成果展示会パネル撤去 草津校

開催場所の記入のない会場は全て近江八幡市総合福祉センターひまわり館です。

第2号議案

令和3年度収支決算報告書

自・令和3年4月1日

至・令和4年3月31日

令和4年3月30日現在

1.収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減 (決算-予算)	摘要
前期繰越	514,900	514,900	-	
年会費	625,000	641,000	16,000	予算 1,250人、決算 1,282人
入会金	-	-	-	
特別会費	-	-	-	
雑収入	5	165,007	165,002	善意銀行助成金100,000円、美国会助成金 35,000円、 寄付金30,000円、利息7円
その他勘定繰入金	-	-	-	定期預金等の取崩し金額
合計	1,139,905	1,320,907	181,002	

2.支出の部

科目	予算額	決算額	増減 (決算-予算)	摘要	
会議費	総会費	95,000	48,073	-46,927	議案書印刷費等
	会議費	20,000	6,130	-13,870	理事会3回、常任理事会6回
	小計	115,000	54,203	-60,797	
旅費	100,000	94,500	-5,500	理事会、常任理事会、会計監査等	
事務費	事務消耗費	15,000	23,345	8,345	資料コピー代等
	通信費	10,000	-	-10,000	
	小計	25,000	23,345	-1,655	
慶祝費	84,000	84,000	-	白寿1名、米寿27名	
事業費	総務研修部費	50,000	16,630	-33,370	
	広報情報部費	198,500	155,031	-43,469	
	地域活動部費	135,000	141,384	6,384	
	特別事業費	200,000	295,398	95,398	40周年記念事業
	小計	583,500	608,443	24,943	
予備費	232,405	-	-232,405		
支出計	1,139,905	864,491	-275,414		
その他勘定繰出金	-	50,000	50,000	同窓会創立50周年記念事業積立金勘定へ	
次期繰越金	-	406,416	406,416	期末普通預金残高+現金	
合計	1,139,905	1,320,907	181,002		
50周年積立金		50,000	50,000	令和3年度より積立開始	

上記のとおり決算報告致します。

令和4年3月31日 滋賀県レイカディア大学同窓会

会長 堀江 勇夫 印

会計 藪 健治 印

監査報告書

令和4年4月1日、近江八幡市のひまわり館において、会計諸帳簿および証拠書類の提出を求め、
入念に監査いたしましたところ、全て適正かつ正確に処理されていることを、認めましたのでここに報告致します。

令和4年5月11日

監事 森井 幸三 印

監事 児玉 正孝 印

第3号議案 役員改選（案）

会 長 堀江勇夫 （留任）中部支部 第30期 地域文化学科

副会長 小島 治 （新任）守山・野洲支部 第34期 地域文化学科

副会長 濱口勝司 （新任）近江八幡支部 第32期 地域文化学科

事務局長 藤田順一 （新任）大津支部 第37期 園芸学科

会 計 須藤 豊 （新任）中部支部 第40期 健康づくり学科

監 事 藪 健治 （新任）草津・栗東支部 第35期 園芸学科

監 事 奥長裕幸 （新任）湖北支部 第37期 北近江文化学科

I. 活動の基本方針

ポスト”創立40周年記念事業年度”に”新しい風”を吹かせよう！！

来る2030年には「同窓会創立50周年」を迎えます。同窓会員にとっては正に世紀の大イベントといえるでしょう。これからの10年は時代の変節に当り想像さえ付かない目まぐるしい変化の到来となるでしょう。

その要因となるキーワードは「1, W i t hコロナ・P o s tコロナ 2, 定年延長 3, デジタル社会の進行 4, W E B会議の当り前 5, 女性活躍社会の深化 6, 母校レイカディア大学の革新」でしょう。

これらに対応する足がかりを築くために、以下の取組みを個別具体的に着手して参ります。

- 1、Z e r oコロナは訪れません。しからばW i t hコロナです。今までの”当り前”が”当り前”でなくなれば、新しい”当り前を”受入れなければ世の中の進化に取り残されてしまいます。同窓会もそうならないように変化の受入れに果敢に挑戦していきましょう。
- 2、入学応募者の高年齢化は避けられません。何故かと言えば労働人口の不足を補うために定年制の延長が現行の努力規定から義務規定に強化されるでしょう。前期・後期高齢者の概念もおそらく繰下げられるでしょう。それに伴って学生のニーズも社会のそれも大きく変わるでしょう。
- 3、デジタル社会の深化は必然の様相です。授業のあり方も今とは違って、在宅授業となるかも知れません。通学の必要性がなくなれば、自ずと入学条件や資格も見直されることになるでしょう。HP 運営の立ち位置の重みは、益々大きくなるでしょう。
- 4、リモート会議と対面会議のバランス感覚が求められます。全てがリモート化かと言えばそうでは無いと思います。人間の本質は集団生活が基本です。本当の意味で心を通わすには対面会議は欠かせません。意思決定（頭脳活動）と現地活動（対面活動）の均衡ある仕組の模索が求められるでしょう。
- 5、W o m a nパワーとM a nパワーのシンパシーこそ大切です。社会は男女両性で構成されています。いずれも存在意義と能力は変わりません。あらゆる場面で活躍の機会は、均等であることが望ましいのです。同窓会(本部・支部)の様変わった姿を期待致しましょう。
- 6、母校の有り様は、社会的ニーズに答えられているのか。大学の運営母体である滋賀県社会福祉協議会が、今年「法人認定70周年」を迎えられます。建学の精神は堅持しながらもカリキュラムの編成（ソフト面）、学舎の環境立地（ハード面）に於いて、変革が為されようとしています。

前述の入学階層の変化やデジタル社会の熟度に応じた、フルモデルチェンジを期待する、声の高まりが生れてくるでしょう。

以上、今期（2年間）の同窓会活動は、比較的平穏な任期となるであろう予測が立ちますので、来たるべき次世代の生れ変わった同窓会の様相に、思いを馳せてみる機会としたいと思います。新役員ならびに会員の皆様の、ご理解とご協力を御願い申し上げます。

Ⅱ 令和4年度、各部会の活動計画

総務研修部会

1. 令和4年度定期総会の開催
日時 令和4年5月11日(水) 13:30～15:30
会場 県立長寿社会福祉センター レイカディア大学草津校 大教室
担当支部 甲賀・湖南支部
2. 第44期学生募集応募要項の配布活動
重点期間 6月1日～7月29日
3. 「無料必修講座」の聴講
草津校、米原校各々で開催。日時および講座内容は大学事務局とで調整

地域活動部会

1. 安全安心を第一に地域活動の継続と拡大を推進
 - ① 草津、米原校サポートの会主催事業に母校支部より参加
 - ② 「美しい湖国をつくる会」活動への積極的参加
2. 「第14回地域活動事例体験発表会」の開催
コロナ感染症の状況を勘案しながら計画を決定、実施する
3. 「地域活動体験学習」ガイダンスへの参画

広報情報部会・HP管理班

1. 「會報つながり39号」の発行
夏号は休止する
2. 同窓会紹介パネルの写真入替および展示作業
3. 同窓会新入会者のための同窓会紹介パワーポイントの更新

<HP管理班>

1. ホームページの随時更新
2. 管理担当者の交代時の引継ぎルール見直しと支部内サブ担当者配置の検討
3. バックアップデータの保管環境の設定(本部、支部ごとのデータ保管)

第5号議案

令和4年度収支予算書 (案)

(自・令和4年4月1日 至・令和5年3月31日)

1. 収入の部

(単位： 円)

科目	前年決算額	当年度予算額	増 減	摘 要
前期繰越	514,900	406,416	-108,484	
会費	641,000	625,000	-16,000	会員 1,250人分
入会金	0	0	0	
特別会費	0	0	0	
雑収入	165,007	5	-165,002	利息のみ
合 計	1,320,907	1,031,421	-289,486	

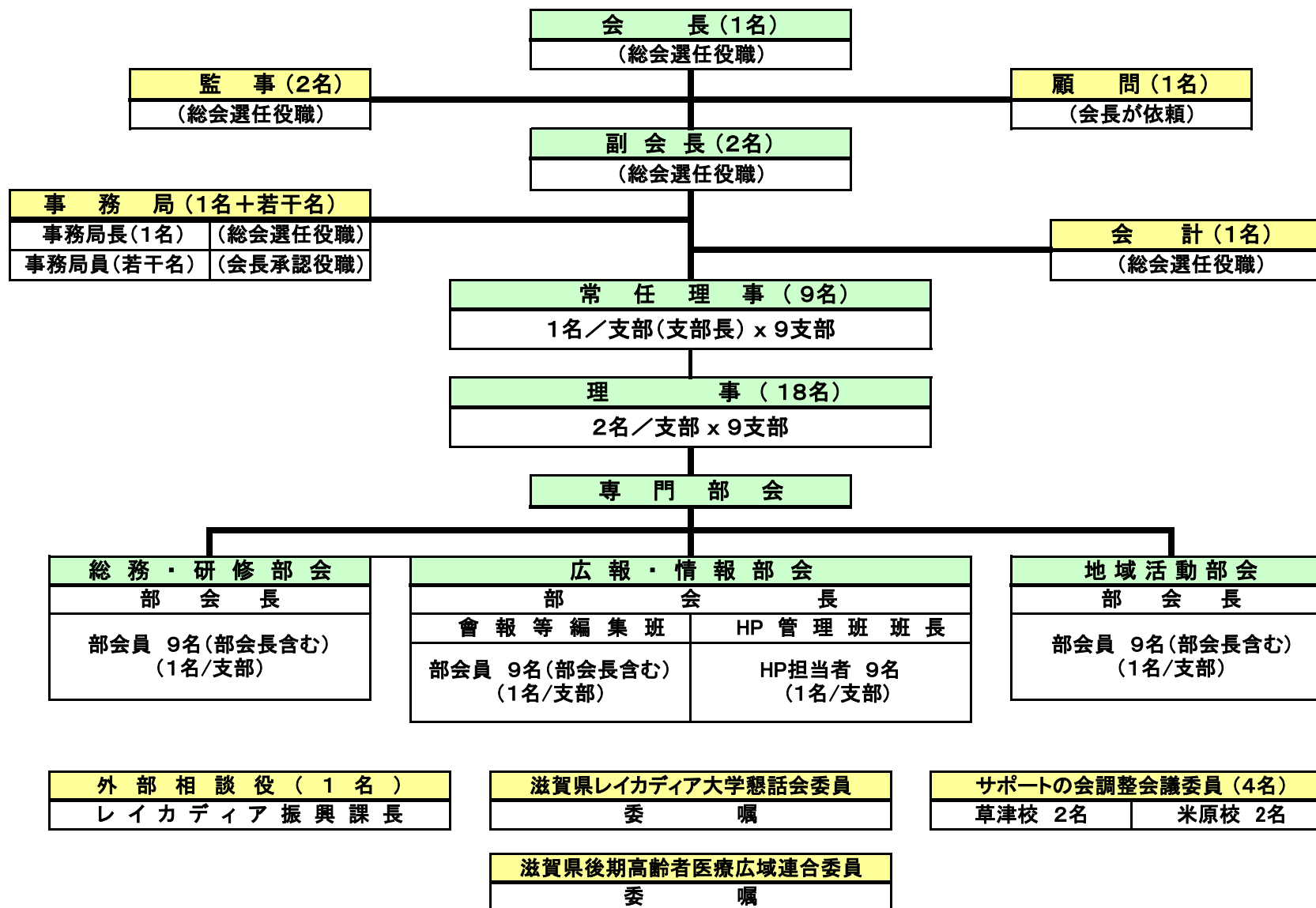
2. 支出の部

科目	前年決算額	当年度予算額	増 減	摘 要	
会議費	総会費	48,073	95,000	46,927	資料印刷・会場費等
	会議費	6,130	20,000	13,870	理事会・常任理事会会場費
	小計	54,203	115,000	60,797	
旅 費	94,500	100,000	5,500	理事会常任理事会等旅費	
事務費	事務消耗費	23,345	25,000	1,655	資料コピー・インク等
	通信費	0	10,000	10,000	ハガキ・切手代
	小 計	23,345	35,000	11,655	
慶祝費	84,000	99,000	15,000	対象者33名	
事業費	総務研修部費	16,630	50,000	33,370	部会会議室費旅費等
	広報情報部費	155,031	198,500	43,469	會報発行及びHP管理等
	地域活動部費	141,384	135,000	-6,384	事例発表会、地活補助金等
	特別事業費	295,398	0	-295,398	前年度は40周年記念事業費
	小 計	608,443	383,500	-224,943	
支出計	864,491	732,500	-131,991		
その他勘定繰出金	50,000	50,000		50周年記念積立金	
次期繰越金	406,416	0			
予備費		248,921			
合 計	1,320,907	1,031,421	-289,486		

3. 50周年記念積立の部

科目	前年度残高	今年度繰入金	今年度残高	摘 要
50周年記念積立金	50,000	50,000	100,000	

滋賀県レイカディア大学同窓会組織図



令和4年度 滋賀県レイカディア大学同窓会（常任理事会・理事会）役員名簿
 (取扱注意) 2022/4/1

役 職	氏名	住 所	卒期・学科	支部	専門部会
会 長	堀 江 勇 夫	蒲生郡日野町	30・地文	中 部	
副 会 長	小 島 治	守山市	34・地文	守・野	
副 会 長	濱 口 勝 司	近江八幡市	32・地文	八 幡	
事 務 局 長	藤 田 順 一	大津市	37・園芸	大 津	
会 計	須 藤 豊	東近江市	40・健づ	中 部	
常任理事 (支部長)	藤 田 順 一	大津市	37・園芸	大 津	広報情報
	小 石 秀 司	草津市	39・地文	草・栗	広報情報
	小 島 治	守山市	34・地文	守・野	総務研修部会長
	林 弘 實	湖南市	33・陶芸	甲・湖	総務研修
	濱 口 勝 司	近江八幡市	32・地文	八 幡	広報情報部会長
	須 藤 豊	東近江市	40・健づ	中 部	総務研修
	諏 訪 俊 雄	彦根市	37・北文	湖 東	地域活動部会長
	中 川 豊 太 良	長浜市	38・北文	湖 北	地域活動
	白 井 興 士 則	高島市	36・園芸	高 島	総務研修
理 事	一 色 実	大津市	39・び環	大 津	総務研修
	長 幸 雄	大津市	40・地文	大 津	地域活動
	北 川 勝	草津市	39・園芸	草・栗	総務研修
	北 田 彌 生	栗東市	39・環境	草・栗	地域活動
	石 田 耕 一	守山市	34・園芸	守・野	広報情報
	堀 井 宏	野州市	35・健づ	守・野	地域活動
	村 上 多 津 美	甲賀市	37・地文	甲・湖	広報情報
	市 井 眞 一	甲賀市	37・地文	甲・湖	地域活動
	森 善 祐	近江八幡市	32・地文	八 幡	総務研修
	福 島 喜 美 恵	近江八幡市	31・スポ	八 幡	地域活動
	須 田 進 一	東近江市	39・園芸	中 部	地域活動
	田 邊 初 美	東近江市	39・北文	中 部	広報情報
	辰 野 登	彦根市	38・北文	湖 東	総務研修
	西 村 優	犬上郡豊郷町	40・園芸	湖 東	広報情報
	西 嶋 正 美	長浜市	39・地文	湖 北	総務研修
	遠 藤 博	米原市	40・北文	湖 北	広報情報
	西 澤 幸 夫	高島市	38・園芸	高 島	広報情報
川 尻 耕 生	高島市	37・環境	高 島	地域活動	
HP 管 理 班	野 川 篤 美	野州市	36・地文	守・野	HP管理班長
	中 村 登	大津市	37・園芸	大 津	HP管理班
	田 村 隆 光	栗東市	41・環境	草・栗	HP管理班
	芝 田 三 義	守山市	41・園芸	守・野	HP管理班
	原 田 順 子	甲賀市	39・健づ	甲・湖	HP管理班
	川 村 護	近江八幡市	35・北文	八 幡	HP管理班
	前 田 邦 博	東近江市	40・健づ	中 部	HP管理班
	川 口 久 隆	彦根市	40・園芸	湖 東	HP管理班
	谷 口 惣 亮	長浜市	41・園芸	湖 北	HP管理班
湯 浅 清 明	高島市	40・園芸	高 島	HP管理班	
監 事	藪 健 治	草津市	35・園芸	草・栗	
	奥 長 裕 幸	長浜市	37・北文	湖 北	
外 部 相 談 役	高 橋 宏 和	草津市笠山7丁目8-138	レイカディア振興課長		
事 務 局 員	木 村 萩 女	近江八幡市	37・健づ	八 幡	

滋賀県レイカディア大学同窓会会則

(名 称)

第1条 本会は、滋賀県レイカディア大学同窓会と称する。

(会 員)

第2条 本会は、滋賀県老人大学校および滋賀県レイカディア大学（以下「母校」という。）の卒業生をもって組織する。

(事務所)

第3条 本会の事務所は、滋賀県レイカディア大学同窓会の会長宅に置く。

(目 的)

第4条 本会は、次の活動を推進することを目的とする。

- (1) 会員の親睦交流活動
- (2) 地域活動、ボランティア活動
- (3) 母校の存続と発展に寄与する活動

(事 業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 総会及び役員会（常任理事会および理事会）の開催
- (2) 母校の発展に寄与すること
- (3) 会員の親睦交流に関すること
- (4) 地域活動、ボランティア活動に関すること
- (5) 會報の発行および広報に関すること
- (6) 文化、スポーツ、健康、研修に関すること
- (7) 慶祝に関すること
- (8) その他必要と認めた事業

(部局の設置および分掌)

第6条 本会は、前条の事業を行うため、次の部局を設け分掌事項を定める。

- (1) 事務局
 - ア 会長を補佐し、各部会と連携をとり会務の調整に関すること
 - イ 常任理事会および理事会の会議案内、司会進行、議事録作成および保管に関すること
 - ウ 母校への入学募集および本会への入会に関すること
 - エ その他、他の部会に属さないこと
- (2) 総務研修部会
 - ア 総会に関すること
 - イ 慶祝に関すること
 - ウ 会員の親睦交流に関すること
 - エ 研修事項の策定および実施に関すること

(3) 広報情報部会

- ア 機関誌「會報」等の発行に関すること
- イ ホームページ（以下 HP という）の維持管理に関すること
- ウ マスメディアへのアプローチに関すること
- エ その他同窓会および会員活動等の広報に関すること

(4) 地域活動部会

- ア 地域活動、ボランティア活動の推進に関すること
- イ 会員の地域活動の調査、報告等に関すること
- ウ 行政機関等各種団体との連携に関すること
- エ 支部で実施する地域活動、ボランティア活動の支援に関すること
- オ 地域活動事例発表会に関すること

(支部とその区域)

第7条 本会には、次表の支部を設け、その区域は表に掲げるとおりとする

支 部 名	区 域
大津支部	大津市
草津・栗東支部	草津市・栗東市
守山・野洲支部	守山市・野洲市
甲賀・湖南支部	甲賀市・湖南市
近江八幡支部	近江八幡市
中部支部	東近江市(但し旧湖東町・旧愛東町を除く)・蒲生郡
湖東支部	彦根市・愛知郡・犬上郡・東近江市の旧湖東町・旧愛東町
湖北支部	長浜市・米原市
高島支部	高島市

2 支部は、自主的にそれぞれの支部会則を定める。

(役 員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 事務局長 1名
- (4) 常任理事 9名 (各支部長)
- (5) 理 事 18名 (各支部 2名)
- (6) HP 管理班長 1名
- (7) HP 担当者 9名 (各支部 1名)
- (8) 事務局員 若干名 (必要に応じて)
- (9) 会 計 1名
- (10) 監 事 2名
- (11) 外部相談役 1名

2 役員を選任は、次による。

- (1) 会長、副会長、事務局長、会計および監事は、会員の中から理事会において選出し、総会の承認を得る。
- (2) 常任理事、理事および HP 担当者は、各支部にて選出する。

- (3) HP 管理班長は、HP 担当者の中から選出する。
- (4) 部会長は常任理事および理事の中から会長が推薦し、常任理事会にて承認を得る。
- (5) 部会員は常任理事、理事および HP 担当者にて構成する、なお会長・副会長・事務局長および会計は何れの部会へも参加出来る。
- (6) 事務局長は、必要に応じて会員の中から事務局員を選任することが出来る。その場合、会員の中から事務局長が指名し、会長の承認を得る。
- (7) 外部相談役は、滋賀県社会福祉協議会レイカディア振興担当課長に就任を依頼する。
- (8) 役員選出にあたっては、男女共同参画の提唱と定着を常に念頭に置いて行う。

3 役員の職務は、次による。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を総括し、常任理事会および理事会の議長を務める。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときまたは会長が欠けたときは、副会長がその職務を代行する。
- (3) 事務局長は、会長を補佐し、各部会と連携をとり会務の執行に関する調整、事務事項のとりまとめを行う。
- (4) 事務局員は、事務局長を補佐し、事務局長の指示に従って事務を担当する。
- (5) 常任理事および理事は、理事会を構成するとともに、担当部会の分掌事項を推進する。
- (6) HP 管理班長および HP 担当者の職務は、同窓会 HP 運用規約に規定する。
- (7) 会計は、本会の会計事務を担当する。
- (8) 監事は、会計事務を監査する。
- (9) 外部相談役は、会長の要請に応じて理事会等に出席し、母校の運営状況等について報告し、かつ、本会の活動に関し助言することが出来る。

4 役員の任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。なお、補欠により選任された者の任期は、前任者の残余期間とする。

(常任理事会および理事会)

第9条 常任理事会および理事会は、会長が必要と認めた時に開催する。

- 2 常任理事会は、本会の運営に関する事項について協議、議決する。
- 3 理事会は、総会に付議する事項を議決するとともに、本会の重要事項について協議する。
- 4 表決については、第10条の5項を適用する。

(総会)

第10条 定期総会は、年1回会長がこれを開催する。

- 2 定期総会は、支部総会の後に行うことを原則とする。
- 3 臨時総会は、必要に応じて理事会の議を得て、会長がこれを開催する。
- 4 定期総会および臨時総会の議長は、出席会員の中より選出する。
- 5 議事は、出席会員の過半数により決する。但し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(総会への付議事項)

第11条 総会に付議する事項は、次のとおりとする。

- (1) 会則の制定および改廃
- (2) 事業報告、決算報告および監査報告
- (3) 事業計画案および予算案

- (4) 役員の選任
- (5) その他理事会において必要と認めた事項

(顧問)

第12条 本会の運営に関する助言を受けるため顧問を置くことが出来る。

- 2 顧問は、本会の会長経験者の中から会長が就任を依頼する。
- 3 会長は、必要の都度顧問に理事会等への出席を要請し、本会の運営に関する助言を受けることが出来る。

(経費)

第13条 本会の経費は、年会費、入会金および寄付金等の収入をもって充てる。

- 2 年会費は500円とする。但し、満88歳以上の者および当該年度中に満88歳に達する者については年会費を免除する。
- 3 新たに入会する者は、入会金1,000円（本会500円、支部500円）を納付するものとする。

(会計年度および事業年度)

第14条 本会の会計年度および事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(慶事)

第15条 次のとおり慶祝を行う。

- (1) 会員が数え年の米寿および白寿を迎えたときは、祝詞を添えて記念品を贈る。
- (2) 記念品については、常任理事会で定める。

(組織図、役員名簿および会議体)

第16条 本会は組織図、役員名簿および会議体を備え、管理する。

付 則

- 1 この会則は、平成7年4月1日より適用する
- 2 この会則は、平成8年4月1日より一部改定する。
- 3 この会則は、平成8年5月1日より一部改定実施する。
- 4 この会則は、平成10年6月11日より一部改定実施する。
- 5 この会則は、平成11年6月9日より一部改定実施する。
- 6 この会則は、平成12年6月9日より一部改定実施する。
- 7 この会則は、平成14年5月21日より一部改定実施する。
- 8 この会則は、平成15年5月18日より一部改定実施する。
- 9 この会則は、平成17年5月14日より一部改定実施する。
- 10 この会則は、平成21年5月16日より一部改定実施する。
- 11 この会則は、平成22年5月15日より一部改定実施する。
- 12 この会則は、平成23年5月17日全部改正し、同日より施行する。
- 13 この会則は、平成25年5月10日に一部改正し、同日より施行し、平成25年度の年会費から適用する。
- 14 この会則は、平成27年5月26日に一部改正し、同日より施行し、平成27年度の年会費から適用する。
- 15 この会則は、平成28年5月26日より一部改定実施する。
- 16 この会則は、平成29年5月16日より一部改訂実施する。
- 17 この会則は、平成30年5月16日より一部改訂実施する。
- 18 この会則は、令和3年5月26日より一部改訂実施する。

付則 入会が4月となる41期生、42期生については、入会金1,000円の納付を免除する。

レイカディア讃歌

(レイカディア太学校歌)

高城修三 作詞
下村正勝 作曲
廣瀬量平 補作編曲

さわやかに *mf*

1. おお みの もなら か あ お き う み
2. (あお) か き つ な かね あ お き う み
3. (あわ) か う み う つ す あ お き ひ そ ら

さ さ な み よ せ る か ろ 一 き お り と
み ね に た わ せ る し ろ ら 一 と お の
う ち ち う が み せ る ふ か 一 き か の

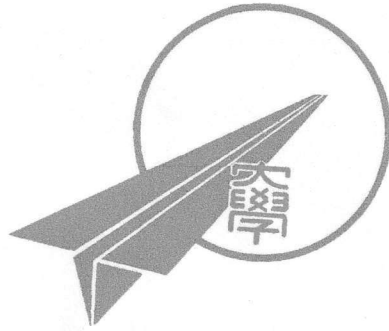
い つ ま で も つ き る こ と な き そ の お も い と も
は つ る こ と な き そ よ ろ こ び き と も
き ち ゅ る こ と な き そ の ま こ と と も

に ま な ば ん さ わ 一 や か に レイ
に あ そ ば ん う る 一 わ し く
に い き な ん か ぎ 一 り な く

カディア レイ カディア わが レイカディア あおア
あわ

レイカディア讃歌

- 一、近江の最中 青き湖
ささなみ寄せる 軽き音
いつまでも 尽きることなき
その思い
ともに学ばん さわやかに
レイカディア レイカディア
わがレイカディア
- 二、青垣つらね 鈴鹿比良
峰にたわむる 白鳥の
いつまでも 果つることなき
歎びを
ともに遊ばん うるわしく
レイカディア レイカディア
わがレイカディア
- 三、淡海映す 蒼き空
宇宙が見せる 深き貌
いつまでも 消ゆることなき
その真実
ともに生きなん かぎりなく
レイカディア レイカディア
わがレイカディア



滋賀県レイカディア大学同窓会憲章

- 一、互いに助け合い、高齢者社会を生きる資質と実践力を高めよう。
- 一、心身の健康を保って、社会活動に積極的に参加し、高齢社会の支柱となって働こう。
- 一、古き良きものを伝承し、新しきを生み出して、郷土社会の健全な発展に尽くそう。
- 一、会員の研修及び母校の発展に寄与する活動を積極的、持続的に推進しよう。
- 一、社会の発展に即応する高齢者像の具現のために励みあい、提携し合う輪を内外に広めよう。

平成六年七月十一日改定

滋賀県レイカディア大学同窓会